

第41回 武雄市短期経済観測調査（たけお短観）の結果について

下記のとおり「第41回武雄市短期経済観測調査（たけお短観）」を実施し、結果をとりまとめましたので、お知らせします。

結果のポイント

現況のDI値は前回6月調査と比較すると11ポイント減少しており、新型コロナウイルスの影響を受け、さらに厳しい経済状況であることが見受けられる。特に観光業、飲食業、サービス業は20ポイント以上減少しており、深刻な打撃を受けている。

今後4月から6月にかけての見通しについても、依然として厳しい経済状況が続く見込みである。

【武雄市短期経済観測調査（たけお短観）結果】

令和3年3月調査

	前回調査		今回調査			
	A 現況 (R2.6)	見通し (R2.7-9)	調査数	B 現況 (R3.3)	(B-A)	見通し (R3.4-6)
					前回現況 との対比	
総 合	-27	1	91	-38	-11	-10
農業	-67	-11	10	-20	47	-10
建設業	10	40	11	9	-1	0
製造業	-40	10	4	25	65	0
卸売・小売業	-17	8	25	-32	-15	-4
観光業	-55	-9	11	-82	-27	-18
飲食業	-45	-11	9	-78	-33	-33
サービス業	-10	-14	21	-52	-42	-10

- 調査目的 本市経済の景況感をよりの確に把握するため
- 調査対象 武雄市内事業所 100箇所（業種別内訳は上表参照）
- 調査方法 電話等による聴き取り
- 調査内容 (1)現在の景況感：良い、普通、悪いのいずれかを回答
(2)3ヵ月後の見通し：良くなる、変わらない、悪くなるのいずれかを回答
- 集計方法 (1)現在の景況感(2)3ヵ月後の見通しについて、それぞれ回答数の構成比を求めた上で「良い(良くなる)」の構成比から「悪い(悪くなる)」の構成比を引いて「現況DI」、「見通しDI」として指標化しました。
例えば、現在の景況感の「良い」が10%、「普通」が40%、「悪い」が50%の場合は、-40となります。
「DI」(Diffusion Index、デフュージョン・インデックス)は、企業や業界の景況感などを数値化した指標の事で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられています。